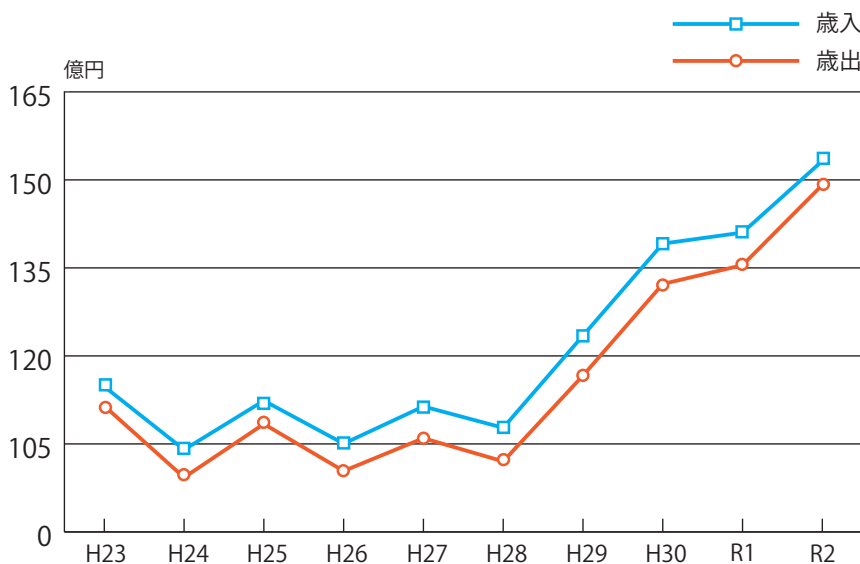




令和2年度 決算概要

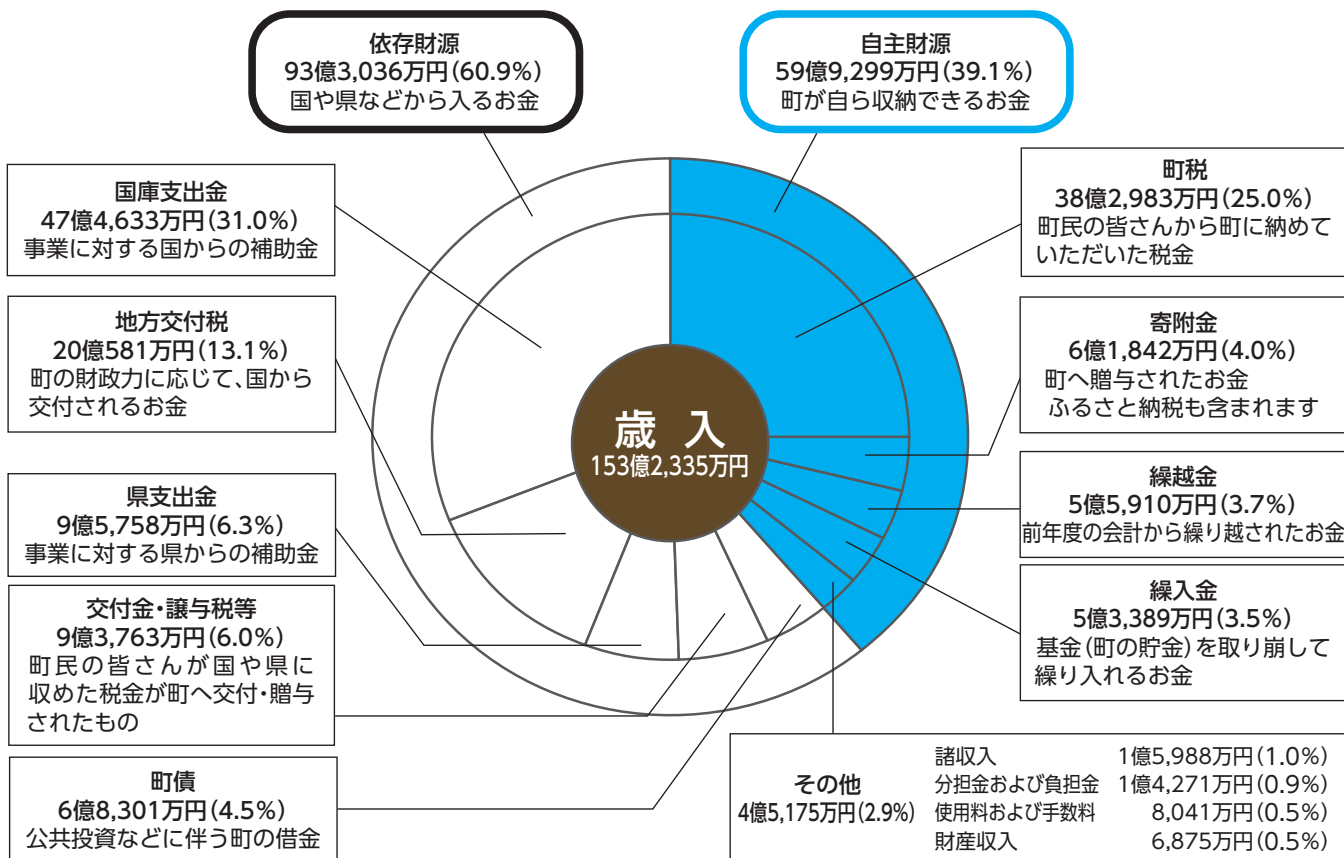
●過去10年の歳入、歳出の決算規模

令和2年度決算は、前年度と比較して歳入は12億2,104万円増加、歳出は13億6,633万円増加となりました。

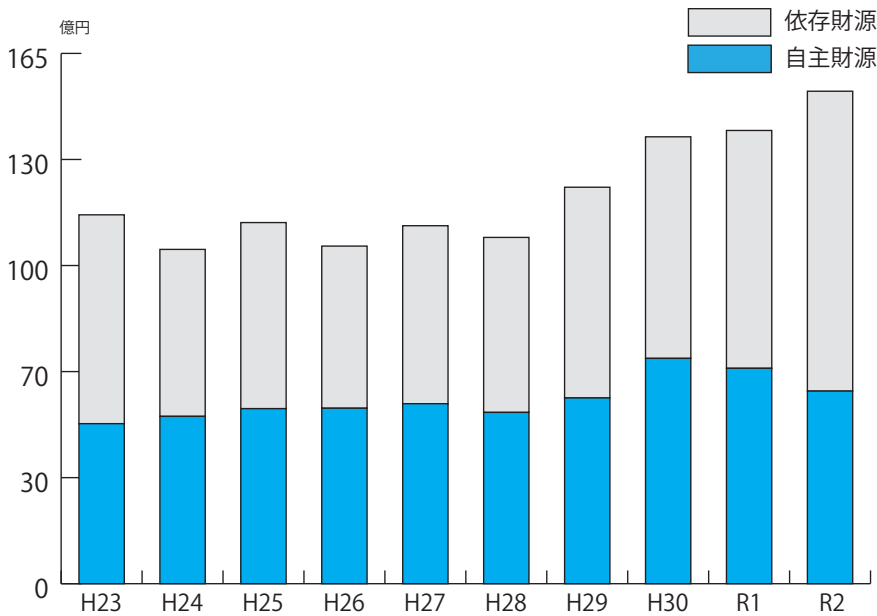


令和2年度の町の収入と支出の実績を表す決算が、町議会議定例会9月会議で認定されました。一般会計では歳入が約153億円、歳出が約149億円となりました。ここでは決算の概要について紹介します。

歳入



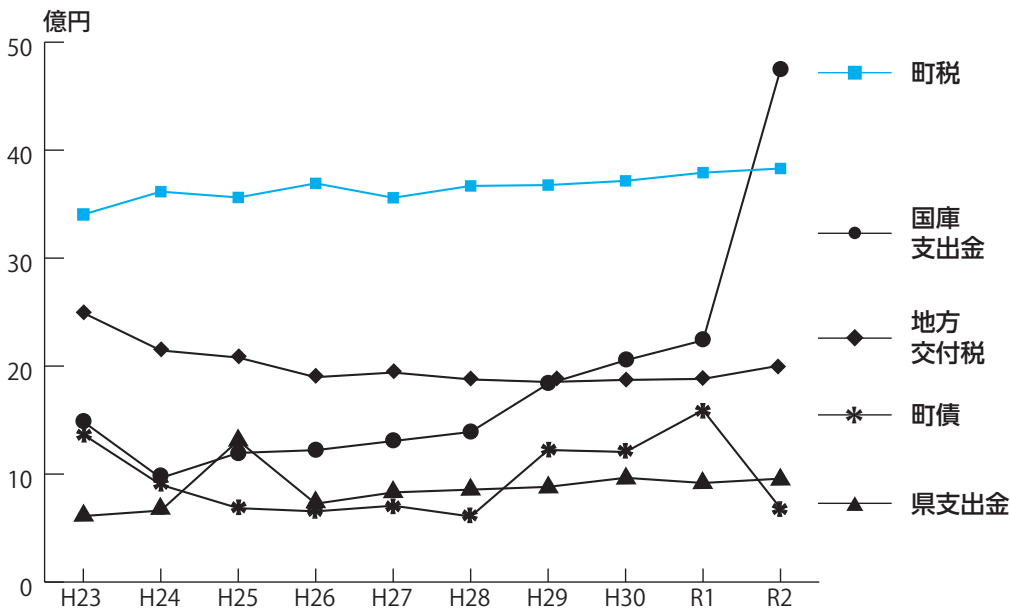
財源の推移



歳入に占める、自主財源と依存財源の割合です。自主財源の割合「自主財源比率」が高いほど、国や県などへの依存度が低く、財政が健全と判断できる一つの基準となります。

令和2年度は、自主財源比率は39.1%で前年度比8.5%減少。依存財源比率は60.9%で前年度比8.5%増加。近年、依存財源比率が増加しています。

主な歳入科目の決算額推移



町税は個人町民税、固定資産税等が増収となったことで、前年度比約3,800万円増加し、高い数値を維持しています。町債は公共事業や学校施設整備事業などの経費が減となり、前年度比約9億1千万円減少。国庫支出金は特別定額給付金や新型コロナウイルス感染症対応への国庫補助などにより、前年度比約25億1千万円増加し、増加傾向が続いています。

町民一人当たりの歳入出額 (令和3年3月31日の人口26,979人で算出)

